

平成26年度 学校評価シート

評価領域	生徒指導部
------	-------

目標の設定 (Plan)

重点目標	交通事故の防止と交通道德の育成
------	-----------------

現 状	例年自転車運転中の事故が10件近く発生している。斜め横断や右側通行をする生徒がいるので、昨年度の1件、一昨年2件の事故件数は偶然であったと考えている。また、生徒を送ってくる保護者の車による渋滞が恒常化していた。
-----	---

具体的な目標	事故を無くし、交通ルールを守れる生徒を育成する。
--------	--------------------------

目標達成のための方策	街頭指導、警察官による交通安全教室により安全な通行を呼びかける。また、保護者に対して文書で協力を呼びかける。
------------	--

実践 (Do)

具体的な取組状況	街頭指導は5回、延べ20日あまり実施した。交通安全教室を2回開催し、自転車事故に特化した内容で講話していただいた。ロータリの出口の右折禁止を保護者にお願ひし、冬期間は駐車場で降車させるよう変更した。合わせて、毎朝混雑する時間帯に生徒指導部員が駐車場入り口で指導を行った。
----------	---

達成状況	自転車運転中の事故が6件発生した。そのうち5件が自動車との接触事故である。保護者の車による渋滞はほとんど見られなくなった。
------	---

自己評価 (Check)

評価基準	A : 具体的な活動が示され目標を達成できた。 B : 具体的な活動はなされているが、目標は達成できていない。 C : 具体的な活動がなされておらず、目標も達成できていない。
------	---

自己評価	評価	根 拠
	B	事故がここ3年間で最多であった。一歩間違えば重大な事態になりかねないケースもあり、さらなる注意喚起が必要である。登校指導やロータリ使用により保護者の車による混雑はかなり解消された。

学校関係者評価と意見	評価	意 見
	B○	交通安全教室などで安全意識の啓発に努めた。登校時の交通安全指導の継続、冬季の駐車場の活用などで混雑解消できた。交通事故0を目指し対策を講じてほしい。

改善した実践 (Action)

自己評価及び学校関係者評価に基づいた改善策	交通安全課の職員による交通安全教室の実施や街頭・校門指導等により、引き続き安全意識の啓発に努める。街頭指導にはこれまで行っていなかった下校時の交通指導も取り入れる。駐車場内及び周辺の安全な通行について保護者への働きかけを継続する。
-----------------------	---